

7 分割後期・二次 国 語

国 語

注 意

- 1 問題は **1** から **5** までで、12ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えは全て解答用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えは特別の指示のあるもののほかは、各問のA・イ・ウ・エのうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 6 答えを記述する問題については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、新しい答えを書きなさい。
- 8 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に書き、その数字の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1

次の各文の――を付けた漢字の読みがなを書け。

- (1) 皆で話し合って解決方法を探る。
- (2) 昼休みの校庭に児童の弾んだ声が響く。
- (3) 運動後に冷たい麦茶を飲んでのどを潤す。
- (4) 豊かな自然の恩恵に感謝しながら暮らす。
- (5) 地域の催し物の手伝いに友達を勧誘する。

2

次の各文の――を付けたかたかなの部分に当たる漢字を楷書で書け。

- (1) 花壇にウえたひまわりが花を咲かせる。
- (2) しらかばのジユヒを編んでかごを作る。
- (3) 生き物のホウコである里山を大切にする。
- (4) 試合のはじめに向かい合ってレイをする。
- (5) 夏休みに旅先の友人から絵葉書がトドく。

3

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに「注」がある。）

漫画家を目指している高校生の「私」（舞沢雛）は、同じく漫画家を目指している同級生の遠野のアドバイスにより、ある月刊誌が主催している賞に自分の漫画を応募した。その一方で、遠野と二人で新たな漫画を合作していた。

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(君嶋彼方「春のほとり」による)

〔注〕 イラストサイト——インターネット上でイラストや漫画を投稿する共有サイトのこと。

ネーム——漫画の下書きや設計図のこと。

〔問1〕⁽¹⁾ その名前を聞いた瞬間、私だけ時間が停止した。体は硬直し、

息は止まり、思考が寸断される。とあるが、この表現について述べたものとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 面識のない編集者から急な判断を迫られて緊張している「私」の様子を、内面の変化を表す言葉を繰り返し用いて表現している。

イ 身に覚えのない電話がかかってきて恐怖を感じている「私」の様子を、時間の流れに沿った情景の描写を用いて表現している。

ウ 新人賞を受賞したことについて知らされて気が動転している「私」の様子を、複数の擬態語を用いて表現している。

エ 漫画を応募した出版社から連絡があつて驚いている「私」の様子を、たとえと連続した短い言葉を用いて表現している。

〔問2〕⁽²⁾ しばらくして、じわじわと喜びが這い上がってくる。とあるが、このときの「私」の気持ちに最も近いのは、次のうちではどれか。

ア 編集者が一方的に話し続けて状況すら理解できなかった電話を終えて、困難を乗り越えた達成感を少しずつ味わっている気持ち。

イ 編集者との電話によるやりとりが終わり、漫画家になるという自分の夢が実現したことへの嬉しさを実感しはじめている気持ち。

ウ 作品の面白かった点を中心に一生懸命説明してくれた編集者の話を思い返し、プロの漫画家としての仕事に満足しつつある気持ち。

エ 自分の漫画づくりを心から応援してくれていた母の存在を思い出し、漫画家として働いて親孝行できる幸せをかみしめている気持ち。

〔問3〕⁽³⁾ 私は真っ白な紙に何も書けないまま、遠野の細い指を見つめている。とあるが、「私」が「真っ白な紙に何も書けないまま、遠野の細い指を見つめてい」たわけとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 遠野と合作している漫画のアイデアが思い浮かばず、遠野が作画の作業をしている姿を見ながらヒントを得ようとしているから。

イ 新人賞の受賞について遠野よりも先に母へ伝えてしまったことを後ろめたさ思い、どのように謝罪すればよいか考えていたから。

ウ このまま遠野と二人で漫画を描き続けることに大きく影響する新人賞の受賞について、遠野に言い出す決心がつかずにいるから。

エ 新人賞の受賞を伝えても誰からも祝福されることがなく、今後も遠野と漫画の合作を続けていくことに自信を失ったから。

〔問4〕⁽⁴⁾ 遠野のペンを持つ手がぴたりと止まる。とあるが、この表現から読み取れる遠野の様子として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 「私」から聞いた話の内容に衝撃を受け、それまで進めていた作画の作業を中断するほど驚いている様子。

イ 一緒に漫画家になろうと約束した「私」から一方的に約束を破られた経緯を知り、怒りに打ち震えている様子。

ウ 長い時間をかけて二人で合作してきた漫画に価値がないと考えている「私」の本心を悟り、深く悲しんでいる様子。

エ いつになく真剣に作業を進めていた中で「私」に話しかけられて混乱し、何を描けばよいか必死に思い出している様子。

〔問5〕⁽⁵⁾ 私は黙ったまま、その様子をただ見つめていた。とあるが、この表現から読み取れる「私」の様子として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア これからも自分のアシスタントとして一緒に漫画を作っていきたいという遠野の申し出を受け、断ることができずに困っている様子。

イ 受賞の事実を聞いた瞬間に嫉妬や軽蔑の表情を浮かべた遠野の姿を見て、漫画の合作ができなくなることを残念に思っている様子。

ウ 学校生活と漫画の連載が両立できないことを遠野に心配されて、漫画家としてどのように進んでいけばよいか思索している様子。

エ 受賞の事実を心から喜んでる遠野の姿と、個人の夢の実現を優先しようとしている自分を対比しながらぼう然としている様子。

4

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに「注」がある。）

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(田口茂「現象学——現われと経験に基づく思考」(一部改変)による)

〔注〕 フッサール——オーストリアの哲学者。現象学を提唱した。

パースの三項図式——アメリカの哲学者パースによる、記号を、記号自体、対象、解釈項の三項関係から捉えた考え。

プラトニック——純粹。

〔問1〕⁽¹⁾ 対象は内にあると同時に外にある。とはどういうことか。次のうちから最も適切なものを選べ。

ア 対象は、経験から離れて心の内にあると同時に、心の外で統一的な連関を形づくっているということ。

イ 対象は、個々の経験のまとまりとして心の内にあると同時に、実在的な対象として心の外にもあるということ。

ウ 対象は、「心理的」考察か「科学的・客観的・三人称的」考察かという枠組みで、一方の視点から思考されているということ。

エ 対象は、実在的な対象であると同時に、普段経験することができない超越的な対象でもあるということ。

〔問2〕⁽²⁾ あるものをめぐって、私と他者が相互に関わり合い、指示し

合い、話し合い、通じ合うなかで、そのものは、はじめて（同じもの）として確かめられ、際立ってくるのである。とはどういうことか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア 他者とやりとりをすることによって、私と他者それぞれの経験に基づく対象が、個別の経験を超えた同一の対象となるということ。

イ 他者とやりとりをすることによって、心が勝手に作り上げた対象が、物体としての特徴を示して真に実在するようになるということ。

ウ 他者とやりとりをすることによって、他人には経験できていない対象が、私には（ある）と思えるものだと確信できるということ。

エ 他者とやりとりをすることによって、個別の経験に基づく対象が、私と他者それぞれの異なる経験として深まっていくということ。

〔問3〕 この文章の構成における第九段の役割を説明したものと最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア それまでに述べてきた考え方について、根拠となる具体的な例を示し、文章後半の内容に向けて論を補足している。

イ それまでに述べてきた考え方に対して、批判的な立場からの意見を示し、文章後半の主張へと論を転換させている。

ウ それまでに述べてきた考え方に基づいて、問題点を列挙することで、文章後半の主張の逆転へと論を進めている。

エ それまでに述べてきた考え方を受けて、新たに問題を提起し、文章後半の結論へとつなげている。

〔問4〕⁽³⁾ 記号を通じて、われわれは他人の経験を理解する。とあるが、

筆者がこのように述べたのはなぜか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア 具体性や個別性に依存する記号を用いることで、各自の経験の違いが明確になり、それぞれの生き方を比較できると考えているから。

イ 理念の世界に全く依存しない記号を用いることで、他人の具体的な経験を深く知り、興味をもつことができると考えているから。

ウ 個別の経験に依存しない記号を用いることで、それぞれの経験を変換し、互いに関わり合うことができると考えているから。

エ 全ての人の経験が一つにまとまっている記号を用いることで、他人の無数の経験について、高度に理解できると考えているから。

〔問5〕 国語の授業でこの文章を読んだ後、「言葉を通じた他者とのやりとり」というテーマで自分の意見を発表することになった。

このときあなたが話す言葉を、具体的な体験や見聞も含めて二百字以内で書け。なお、書き出しや改行の際の空欄、
や「なども、それぞれ字数に数えよ。

A

5

次のAは、与謝蕪村よせうそんの句に関する座談会の一部であり、Bは、Aで述べられている句について書かれた文章である。また、Cは、Aで述べられている句の原文とその解釈である。これらの文章や句を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに「注」がある。）

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

B

(岡田秀之、深沢了子、有坂道子、藤田真二「蕪村余響三〇〇年」による)

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾 申請中

(揖斐高「蕪村」による)

掲載許諾 申請中

(「蕪村全集 第一巻 発句」による)

〔注〕

藪入りやぶいり——正月と盆に、奉公人が主人から休みをもらって実家などに帰ること。

春風馬堤曲しゅんぷうばていきまぐ——蕪村が作った詩の名前。

さきほど申し上げた——有坂さんが好きな句として話題にした。

兼題——句会などで、題をあらかじめ出しておいて句を作ること。

物類称呼——辞書の名称。一七七五年に発刊された。

瞩目——自然に目に触れたもの。

萩原朔太郎はぎわらさくたろう——一八八六年生まれの詩人。

追懐——昔のことを後から思い返すこと。

〔問1〕 Aの中の――を付けたア、エの「に」のうち、他と意味・用法の異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

〔問2〕 Aにおける「⁽¹⁾八巾いしかのぼりきのふの空のありどころ」の句についての説明と、Bにおける「⁽³⁾八巾いしかのぼりきのふの空の有り所」の句についての説明に共通するものとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 現存しない物を描きながらも、目の前に存在しているかのように思わせる、空想性に富んだ句である。

イ 常に変化し続ける物を描くことで、永遠に続くものはないと気付かせる、悲しさを表現した句である。

ウ 変化しない物をあえて描くことで、一瞬一瞬を大切にしようと感じさせる、繊細な句である。

エ 目の前の景色を描きながらも、過ぎ去った日々を想起させる、時間性を詠み込んだ句である。

〔問3〕 ⁽²⁾藤田ふじたさんの発言のこの対談における役割を説明したものとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 俳句は写生が要だとする蕪村の考え方について、矛盾するような事例を示すことで、発言を引き出そうとしている。

イ 読者の想像が広がる句を蕪村が作っていたことについて、句を作る場の意外性を示すことで、話題を深めようとしている。

ウ 蕪村が自宅でのみ作句したことについて、写生性を生かしていない事実を示すことで、問題点を指摘しようとしている。

エ 蕪村は連句が得意だったことについて、具体的な事例を示すことで、話題を転換しようとしている。

〔問4〕 ⁽⁴⁾遅おそき日のつもりで遠とほきむかし哉とあるが、「つもりで遠きむかし」について説明したものととして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 過去のある一日がまるで今日のことのように思い出され、繰り返しの回想するうちに今日もまた過去になっていくということ。

イ 過去を振り返らずに毎日新しい気持ちで過ごすことで、かけがえのない今日として日々を積み重ねていくことができるということ。

ウ 過去のある一日はその日にとっての今日であり、今日の連続によって生じる日々の蓄積がやがて遠い過去になるということ。

エ 過ぎ去った日々が詳しく思い返せないほど遠い記憶となったことで、改めて今日のことを考えることができるということ。

〔問5〕 Cの中の――を付けたア、エのうち、現代仮名遣いで書いた場合と異なる書き表し方を含んでいるものを一つ選び、記号で答えよ。